Ⅰ　調査結果の概要

1　食肉流通の動向

(1)　豚

ア　豚のと畜頭数

豚のと畜頭数は1,642万９千頭で、前年に比べ0.6%増加した（図１、表１）。

図１　豚のと畜頭数の推移（全国）

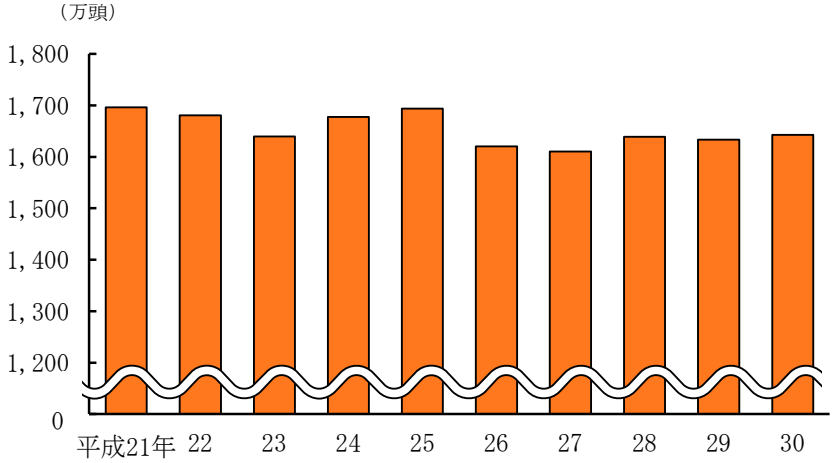


表１　豚のと畜頭数の推移（全国）

区　　分	単位	平成21年	22	23	24	25	26	27	28	29	30
実　　数	千頭	16,966	16,807	16,395	16,776	16,940	16,203	16,104	16,392	16,337	16,429
対前年比	%	104.8	99.1	97.5	102.3	101.0	95.6	99.4	101.8	99.7	100.6

注：対前年比は、原数より算出している（以下各表において同じ。）。

イ　取引成立頭数

豚の全国と畜頭数に占める食肉卸売市場取引成立頭数の割合は12.9%で、前年並みとなった（表２）。

また、食肉卸売市場（中央卸売市場10、指定市場18）における豚の取引成立頭数は212万頭で、前年に比べ0.5%増加した。市場別では、中央卸売市場が91万４千頭で、前年に比べ1.7%増加し、指定市場が120万５千頭で、前年に比べ0.3%減少した（表３）。

表２　豚の全国と畜頭数に占める食肉卸売市場における取引成立頭数及び割合

年　　次	全国と畜頭数	食肉卸売市場 取引成立頭数	割　　合
	千頭	千頭	%
平成29年	16,337	2,109	12.9
30	16,429	2,120	12.9

表３　食肉卸売市場における豚の取引成立頭数

区　分	単位	計	中央卸売市場 取引成立頭数	指定市場 取引成立頭数
平成29年	千頭	2,109	899	1,209
30	〃	2,120	914	1,205
対前年比	%	100.5	101.7	99.7

注：　統計数値については、表示単位未満を四捨五入したため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある（以下各表において同じ。）。

ウ　豚肉の卸売価格（１kg当たり平均価格）

食肉卸売市場（中央卸売市場10、指定市場18）における豚肉の規格別卸売価格は、「極上」が578円、「上」が518円、「省令」が518円、「中」が489円、「並」が446円及び「等外」が347円で、前年に比べそれぞれ8.0％、9.0％、9.0％、10.4％、11.9％、4.1％低下した（表４）。

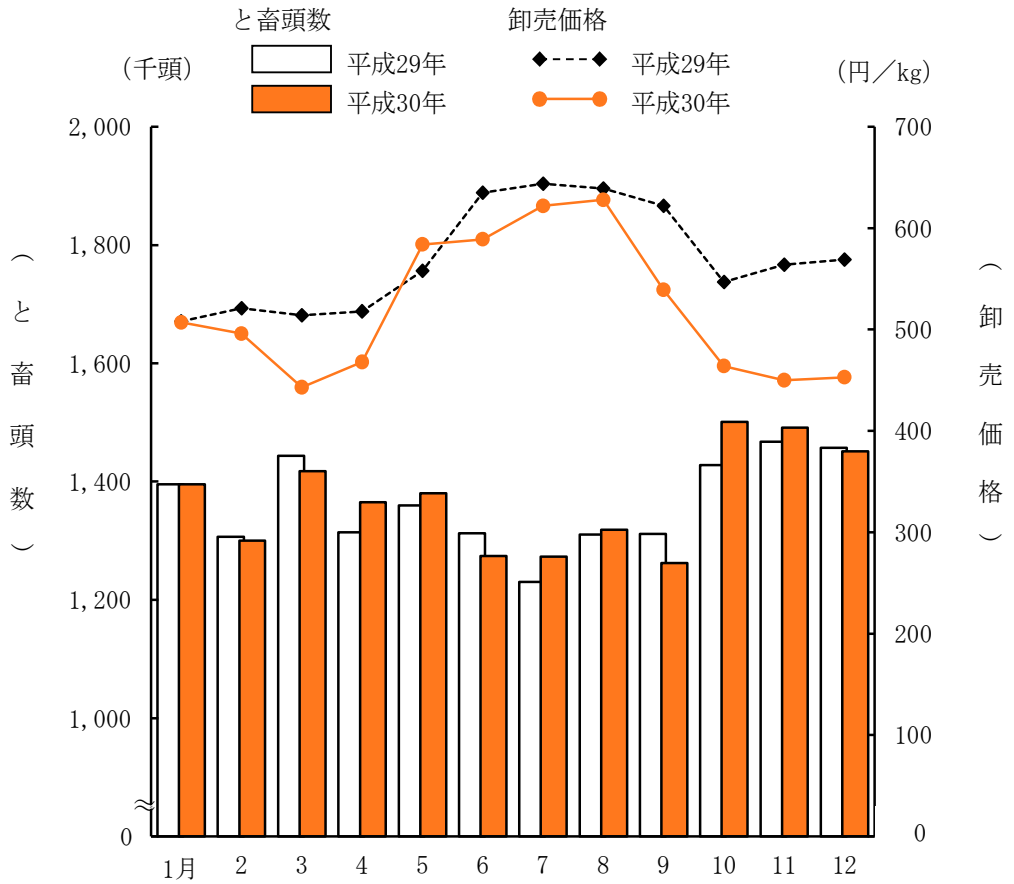
また、月別の卸売価格（省令）は、５月は前年を上回ったものの、その他の月は前年を下回って推移した（図２）。

表４　豚肉の規格別卸売価格

区　分	単位	極上	上	1)省令	中	並	等外
平成29年	円／kg	628	569	569	546	506	362
30	〃	578	518	518	489	446	347
対前年比	％	92.0	91.0	91.0	89.6	88.1	95.9

注：1)は、「極上」及び「上」を合わせたものである。

図２　豚の月別と畜頭数及び卸売価格（省令）（全国）



(2)　牛

ア　成牛のと畜頭数

成牛のと畜頭数は105万２千頭で、前年に比べ1.1%増加した。

このうち、和牛は45万３千頭、交雑牛は24万９千頭で前年に比べそれぞれ3.0%、3.9%増加したが、乳牛は33万９千頭で、前年に比べて3.2%減少した。

成牛の種類別と畜頭数の構成割合をみると、和牛は43.1%、交雑牛は23.7%で前年に比べそれぞれ0.8ポイント、0.7ポイント上昇したが、乳牛は32.2%で前年に比べ1.4ポイント低下した（図３、表５）。

図３　成牛の種類別と畜頭数の推移（全国）

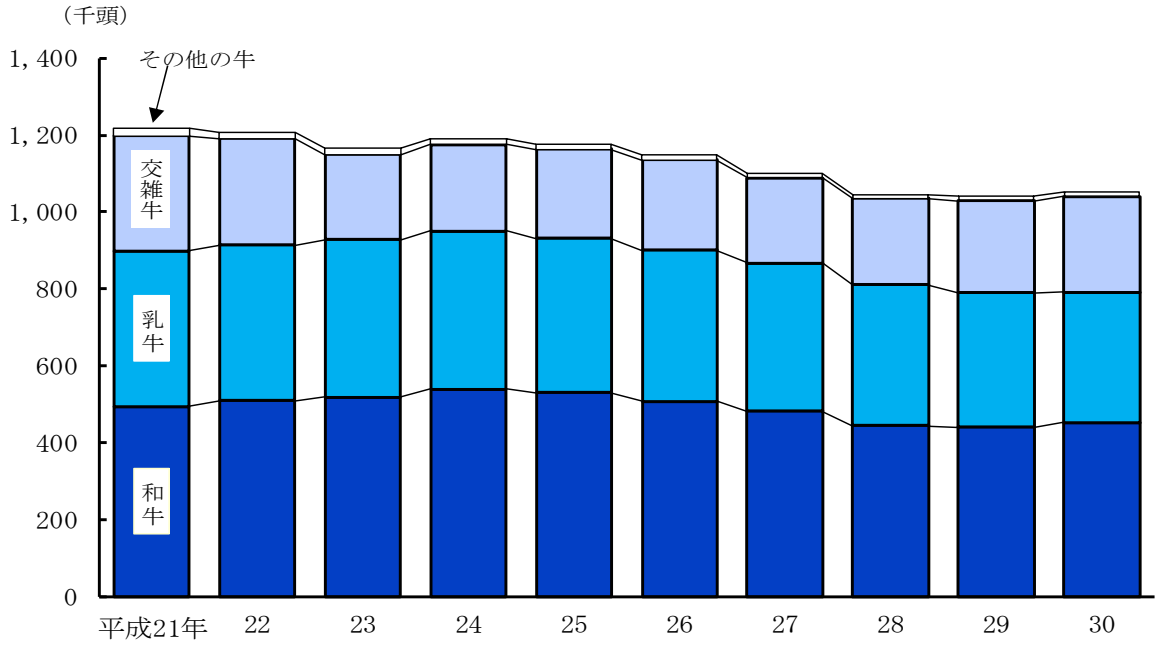


表５　成牛の種類別と畜頭数の推移（全国）

区　　分	単位	平成21年	22	23	24	25	26	27	28	29	30
と畜頭数											
成　牛　計	千頭	1,217	1,209	1,166	1,191	1,178	1,150	1,101	1,046	1,040	**1,052**
和　　牛	〃	495	510	518	540	530	507	483	444	440	**453**
乳　　牛	〃	403	405	410	411	401	393	385	366	350	**339**
交　雑　牛	〃	299	276	222	225	233	236	222	224	240	**249**
その他の牛	〃	20	18	16	15	14	13	12	11	11	**11**
対前年比											
成　牛　計	%	99.2	99.4	96.4	102.1	98.9	97.6	95.8	95.0	99.4	**101.1**
和　　牛	〃	105.9	103.1	101.5	104.3	98.1	95.8	95.1	92.0	99.0	**103.0**
乳　　牛	〃	88.1	100.4	101.3	100.3	97.6	98.0	97.8	95.3	95.5	**96.8**
交　雑　牛	〃	107.0	92.2	80.6	101.1	103.5	101.4	94.1	101.1	106.9	**103.9**
その他の牛	〃	88.9	92.9	86.9	93.4	96.0	93.5	91.5	89.4	97.7	**102.9**
構成比											
成　牛　計	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	**100.0**
和　　牛	〃	40.7	42.2	44.4	45.3	45.0	44.1	43.8	42.5	42.3	**43.1**
乳　　牛	〃	33.1	33.5	35.2	34.5	34.1	34.2	34.9	35.0	33.6	**32.2**
交　雑　牛	〃	24.6	22.8	19.1	18.9	19.7	20.5	20.1	21.4	23.0	**23.7**
その他の牛	〃	1.6	1.5	1.4	1.3	1.2	1.2	1.1	1.1	1.0	**1.1**

注：構成比は、原数（Ⅱ統計表における表章単位）より算出している（以下各表において同じ。）。

イ　取引成立頭数

成牛の全国と畜頭数に占める食肉卸売市場取引成立頭数の割合は32.2％で、前年に比べ0.2ポイント低下した（表６）。

また、食肉卸売市場（中央卸売市場10、指定市場18）における成牛の取引成立頭数は33万８千頭で、前年に比べ0.4％増加した。

市場別では、中央卸売市場は24万９千頭で前年に比べ0.8％増加したが、指定市場は８万９千頭で前年に比べ0.6％減少した。畜種別では、和牛は18万頭で前年に比べ2.1％増加したが、乳牛は４万９千頭、交雑牛は10万９千頭で、前年に比べそれぞれ4.6％、0.1％減少した（表７）。

表６　成牛の全国と畜頭数に占める食肉卸売市場における取引成立頭数及び割合

年　次	全国と畜頭数	食肉卸売市場 取引成立頭数	割　合
	千頭	千頭	％
平成29年	1,040	337	32.4
30	1,052	338	32.2

表７　食肉卸売市場における成牛の取引成立頭数

区　分	単位	計	市　場　別		畜　種　別		
			中央卸売市場	指定市場	和　牛	乳　牛	交雑牛
平成29年	千頭	337	247	90	176	51	109
30	〃	338	249	89	180	49	109
対前年比	％	100.4	100.8	99.4	102.1	95.4	99.9

ウ　牛肉の卸売価格（１kg当たり平均価格）

食肉卸売市場（中央卸売市場10、指定市場18）における成牛の規格別卸売価格は、「Ａ－２」及び「Ｂ－１」規格が前年を下回ったものの、その他の規格は前年を上回った（表８）。

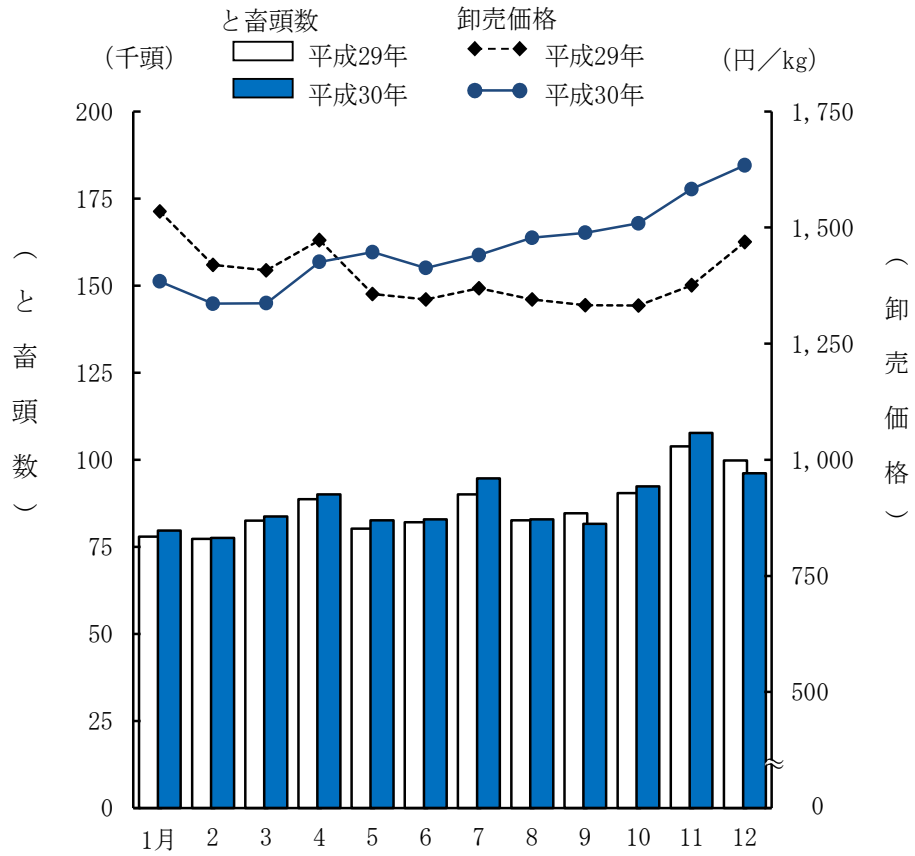
また、省令規格の月別卸売価格は、１月～４月は前年を下回ったものの、５月以降は上回って推移した（図４）。

表８　成牛の規格別卸売価格

区　分	単位	A-5	A-4	A-3	A-2	A-1	B-5	B-4	B-3	B-2	B-1	C-5	C-4	C-3	C-2	C-1	1)省令
平成29年	円／kg	2,948	2,503	2,073	1,547	727	2,505	1,911	1,571	1,198	795	1,934	1,619	1,396	980	505	1,397
30	〃	2,960	2,527	2,094	1,519	745	2,526	1,912	1,584	1,258	739	2,106	1,633	1,455	1,038	524	1,461
対前年比	%	100.4	101.0	101.0	98.2	102.5	100.8	100.1	100.8	105.0	93.0	108.9	100.9	104.2	105.9	103.8	104.6

注：1)は、去勢牛の「Ｂ－３」、「Ｂ－２」を合わせたものである。

図４　成牛の月別と畜頭数及び卸売価格（省令）（全国）



(3)　と畜場数

全国のと畜場のうち豚を処理したと畜場数は144場、と畜頭数は1,642万９千頭であった。これをと畜頭数規模別にみると、10万頭以上のと畜場数は69場、と畜頭数は1,374万１千頭で、全体に占める構成割合はそれぞれ47.9%、83.6%であった。

また、成牛を処理したと畜場数は129場、と畜頭数は105万２千頭であった。これをと畜頭数規模別にみると、１万頭以上のと畜場数は35場、と畜頭数は68万頭で、全体に占める構成割合はそれぞれ27.1%、64.6%であった（表９）。

表９　豚及び成牛のと畜頭数規模別と畜場数及びと畜頭数（全国）

区　分	単位	豚					成　牛				
		計	19,999頭以下	20,000～49,999	50,000～99,999	10万頭以上	計	999頭以下	1,000～4,999	5,000～9,999	10,000頭以上
と畜場数											
平成29年	場	147	32	19	27	69	132	22	42	32	36
30	〃	144	30	19	26	69	129	20	39	35	35
構成比											
平成29年	%	100.0	21.8	12.9	18.4	46.9	100.0	16.7	31.8	24.2	27.3
30	〃	100.0	20.8	13.2	18.1	47.9	100.0	15.5	30.2	27.1	27.1
と畜頭数											
平成29年	千頭	16,337	116	591	1,994	13,636	1,040	7	127	220	686
30	〃	16,429	135	616	1,937	13,741	1,052	8	117	247	680
構成比											
平成29年	%	100.0	0.7	3.6	12.2	83.5	100.0	0.7	12.2	21.2	65.9
30	〃	100.0	0.8	3.8	11.8	83.6	100.0	0.7	11.1	23.5	64.6

注：当該畜種を処理したと畜場のみの集計値である。

２　鶏卵流通の動向

鶏卵生産量は262万８千ｔで、前年に比べ1.0%増加した。

都道府県別の構成割合をみると、茨城県が8.5%と最も高く、次いで鹿児島県が6.9%、千葉県が6.4%、岡山県及び広島県が4.9%の順となっている（図５、表10）。

また、月別の生産量は８月及び９月は前年を下回ったものの、その他の月は前年を上回って推移した（図６）。

図５　鶏卵生産量の推移（全国）

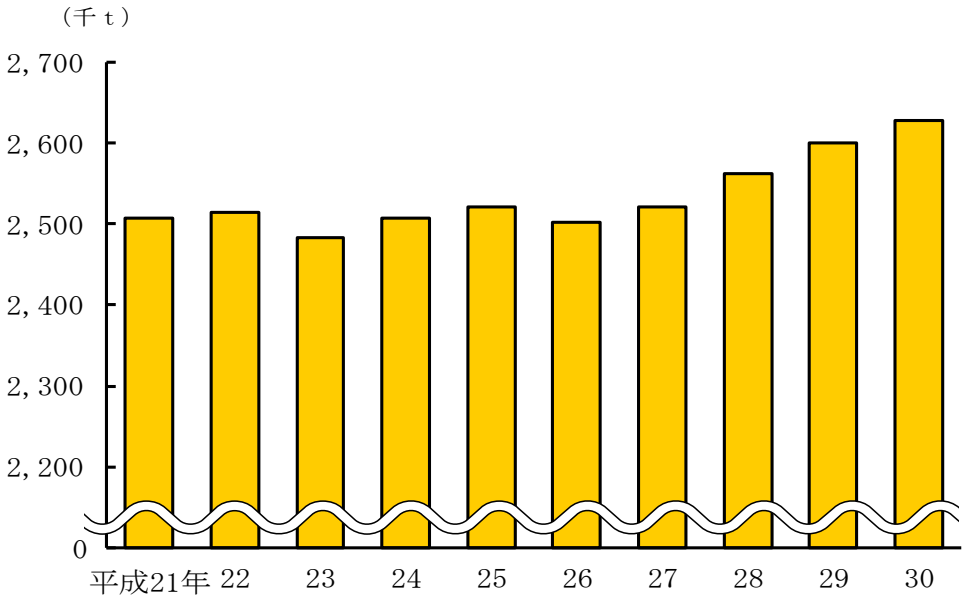
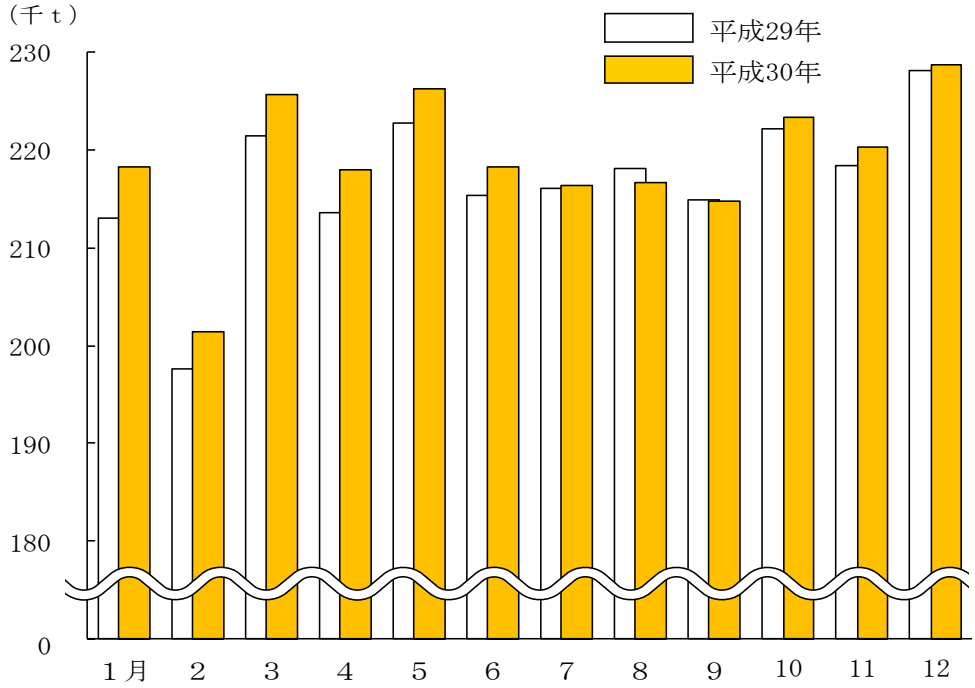


表10　鶏卵生産量（全国及び上位10都道府県）

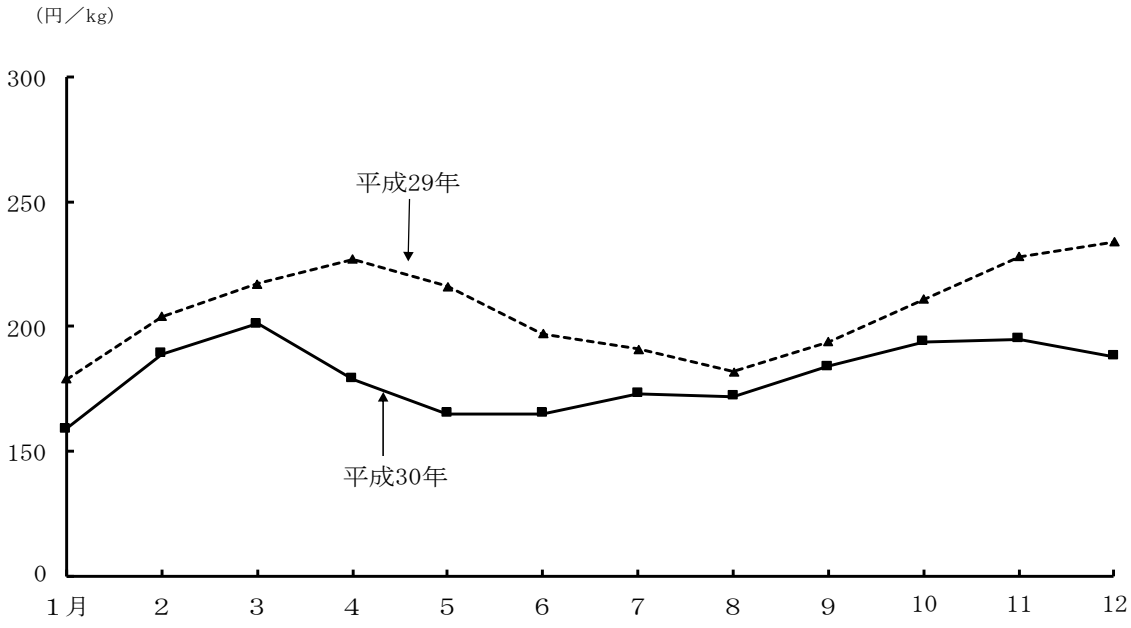
区　　分	実　数		対前年比	平成30年 構成比
	平成29年	30		
	千t	千t	%	%
全　　国	2,601	2,628	101.0	100.0
うち 茨　　城	233	224	96.4	8.5
鹿 児 島	176	182	103.6	6.9
千　　葉	172	168	97.7	6.4
岡　　山	132	130	98.6	4.9
広　　島	131	130	99.2	4.9
愛　　知	107	108	101.0	4.1
青　　森	102	107	105.4	4.1
北 海 道	104	103	99.3	3.9
三　　重	93	97	104.1	3.7
栃　　木	67	94	139.8	3.6
そ の 他	1,285	1,284	99.9	48.9

図６　鶏卵の月別生産量の推移（全国）



（参考）　卸売価格（鶏卵市況情報）

図７　鶏卵の月別卸売価格の推移
（東京全農系、Ｍ規格、中値）



資料：農林水産省統計部「鶏卵市況情報」

3　食鳥流通の動向

食鳥の処理羽数は、肉用若鶏が７億381万４千羽、廃鶏が8,460万４千羽で、前年に比べそれぞれ2.3%、3.9%増加したが、その他の肉用鶏が253万９千羽で前年に比べ7.0%減少した。

また、処理重量は、肉用若鶏が209万4,261ｔ、廃鶏が14万7,819ｔで前年に比べそれぞれ1.5%、2.9%増加したが、その他の肉用鶏が7,425ｔで前年に比べ8.2%減少した（表11）。

表11　食鳥処理量（年間処理羽数30万羽を超える食鳥処理場）

区　分	単位	食鳥の種類		
		肉用若鶏	廃　鶏	その他の肉用鶏
処理羽数（生体）				
平成29年	千羽	688,314	81,432	2,729
30	〃	703,814	84,604	2,539
対前年比	%	102.3	103.9	93.0
処理重量（生体）				
平成29年	t	2,063,202	143,597	8,088
30	〃	2,094,261	147,819	7,425
対前年比	%	101.5	102.9	91.8

注：年間の処理羽数が30万羽を超える処理場のみを調査対象として実施した結果である。

（参考）　累年データ

食鳥の処理羽数及び処理重量の推移（全国）

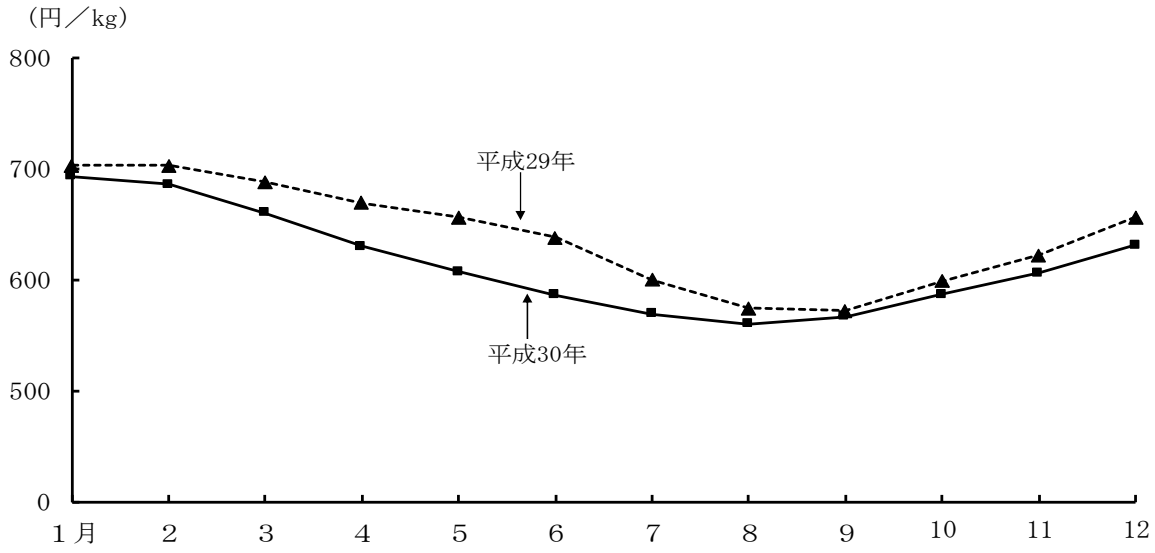
年次	肉用若鶏				廃鶏	
	処理羽数		処理重量		処理羽数	
	全ての食鳥処理場	年間処理羽数30万羽を超える食鳥処理場	全ての食鳥処理場	年間処理羽数30万羽を超える食鳥処理場	全ての食鳥処理場	年間処理羽数30万羽を超える食鳥処理場
	千羽	千羽	t	t	千羽	千羽
平成21年	634,692	…	1,826,543	…	94,224	…
22	633,799	…	1,835,091	…	91,081	…
23	617,176	609,664	1,783,393	1,761,025	88,879	78,603
24	649,629	645,064	1,889,158	1,875,212	90,656	80,841
25	653,999	651,303	1,905,255	1,896,920	86,227	77,112
26	661,030	658,483	1,946,449	1,938,606	87,359	79,141
27	…	669,899	…	1,984,012	…	78,112
28	…	680,392	…	2,019,954	…	80,984
29	…	688,314	…	2,063,202	…	81,432
30	…	703,814	…	2,094,261	…	84,604

年次	廃鶏（続き）		その他の肉用鶏			
	処理重量		処理羽数		処理重量	
	全ての食鳥処理場	年間処理羽数30万羽を超える食鳥処理場	全ての食鳥処理場	年間処理羽数30万羽を超える食鳥処理場	全ての食鳥処理場	年間処理羽数30万羽を超える食鳥処理場
	t	t	千羽	千羽	t	t
平成21年	165,232	…	9,060	…	28,468	…
22	158,665	…	7,849	…	24,582	…
23	154,004	135,347	8,006	6,132	24,901	19,433
24	159,691	141,869	8,231	6,255	26,021	20,268
25	147,056	130,461	8,410	6,398	26,335	20,482
26	155,219	139,990	8,365	6,196	26,517	20,088
27	…	138,809	…	3,065	…	9,240
28	…	143,051	…	2,993	…	8,995
29	…	143,597	…	2,729	…	8,088
30	…	147,819	…	2,539	…	7,425

注：　平成27年調査から、調査の対象を全ての食鳥処理場から年間の食鳥処理羽数が30万羽を超える処理場に変更した。
　　このため、年間処理羽数30万羽を超える食鳥処理場の平成26年以前の数値は、年間の食鳥処理羽数が30万羽を超える食鳥処理場を対象に新たに集計した結果である。

（参考）　卸売価格（食鳥市況情報）

図８　ブロイラーの月別卸売価格の推移
（東京、中値、もも肉）



資料：農林水産省統計部「食鳥市況情報」